

【支笏洞爺国立公園—洞爺湖エリア】

支笏洞爺国立公園は1949年に指定された洞爺湖、羊蹄山、登別、支笏湖、定山溪の周辺地域を中心とした自然豊かな国立公園です。洞爺湖エリアでは、支笏湖とならんで最北の不凍湖として知られる洞爺湖、今なお活発な火山活動を続ける有珠山を舞台に、荒々しくも親しみやすい変化に富んだ自然にふれることができます。

洞爺湖ビジターセンター

ビジターセンターは全国28の国立公園において、国立公園の自然や利用に関する情報の提供などを目的として環境省が整備しています。洞爺湖ビジターセンターは、周辺の自然環境やそこに生きる動植物などの展示、解説を通して、訪れる方々に洞爺湖の自然環境により親しんでもらうための展示・情報提供施設です。

【レクチャールーム】 1F

洞爺湖エリアの四季の自然を150インチハイビジョンで紹介しています。



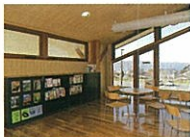
【展望コーナー】 2F

平成12年の噴火で出現した金比羅火口の噴煙や災害遺構を眺めることができます。



【図書コーナー】 2F

洞爺湖を望みながら周辺の自然情報などを調べることができます。



【情報コーナー】 2F

パソコンを使って、洞爺湖エリアの自然情報を3D画面や音響などで詳しく調べることができます。



【エリアマップ】



【アクセス】

路線	ルート	所要時間	徒歩
JR・バス	新千歳駅 → 洞爺湖温泉	約5km/バス約18分	徒歩2分
	札幌駅 → 洞爺湖温泉	JR室蘭本線(特急約1時間40分)	
バス	札幌駅 → 洞爺湖温泉	高速バス: 洞爺湖温泉バスターミナル約2時間40分	徒歩2分
	札幌駅 → 洞爺湖温泉	洞爺湖温泉バスターミナル	
自動車	札幌 → 洞爺湖温泉	定山溪～中山峠～ルーツ高原経由 約103km約2時間	
	札幌 → 洞爺湖温泉	支笏湖～美笛峠経由 (約90km約1時間40分)	
新千歳空港	新千歳空港 → 洞爺湖温泉	高速: 千歳IC～虻田洞爺湖IC (約110km約1時間20分)	

洞爺湖ビジターセンター

施設のご案内

開館時間: 午前9時～午後5時 休館日: 12月31日～1月1日
 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142番5 ☎0142-75-2555

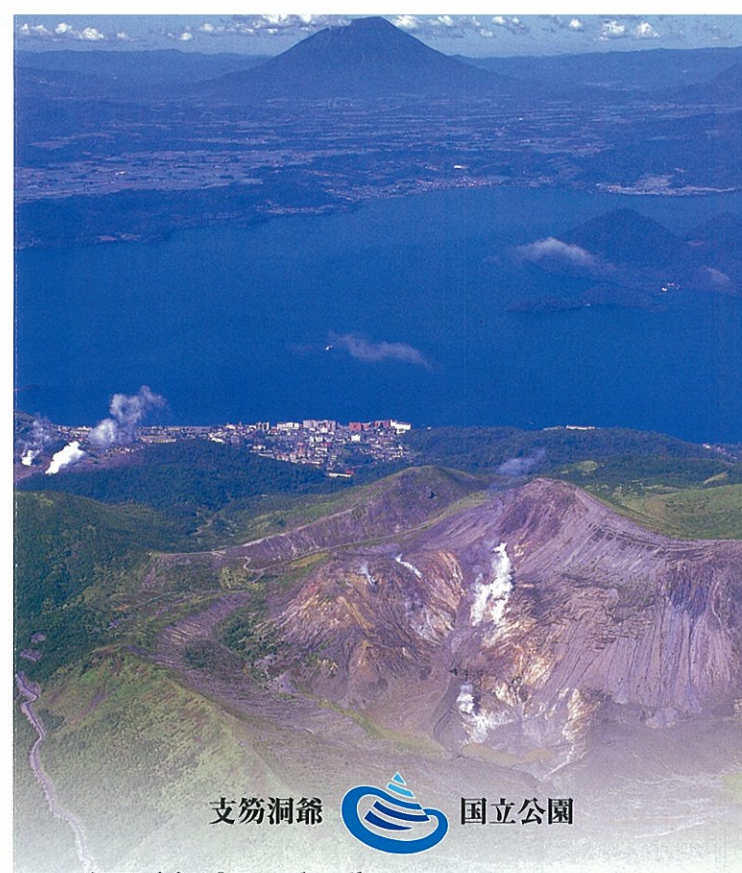
URL www.toyako-vc.jp

入館無料 (火山科学館は利用料が必要)

駐車場無料 (収容自家用車29台、バス12台)

※希望者には館内案内をします。

(平成19年5月14日オープン)



支笏洞爺 国立公園

洞爺湖ビジターセンター TOYAKO VISITOR CENTER





フィールドインフォメーション

洞爺湖周辺のフィールドを楽しむ方法や日本各地の国立公園などを紹介しています。



受付カウンター

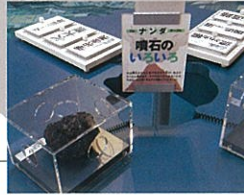


フィールドマナーパネル



洞爺湖のなりたち

カルデラ湖の洞爺湖や活発な火山活動を続ける有珠山の特徴を、噴火の歴史やメカニズムを通して紹介しています。



コレナダテーブル



グラフィックタワー

洞爺湖まるごと紹介

洞爺湖の空撮写真が床一面に広がります。その上には洞爺湖の観察ポイントが書かれたポストが立ち、地域の紹介をしています。



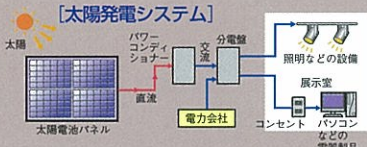
観察ポイントポスト



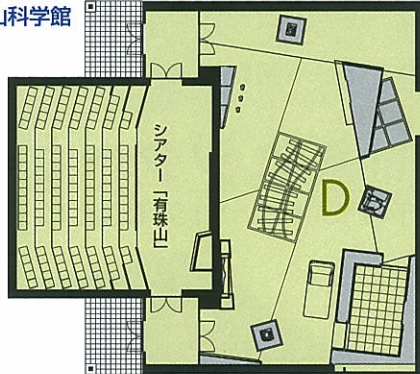
(1/1200 空撮写真)

自然エネルギーの利用

施設は、省エネルギーと環境に配慮して、「太陽光発電システム」と「地中採熱システム」を導入しています。

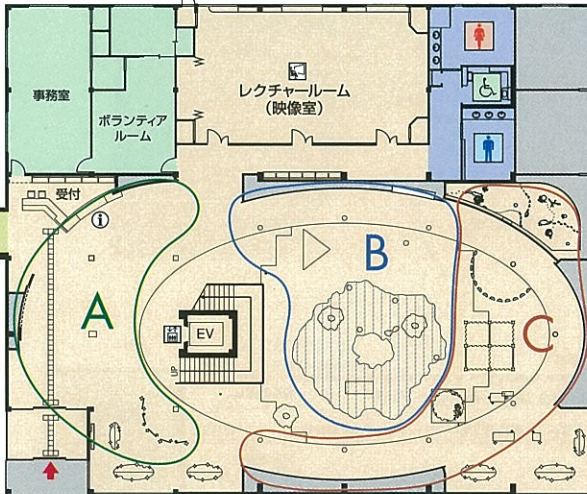


火山科学館



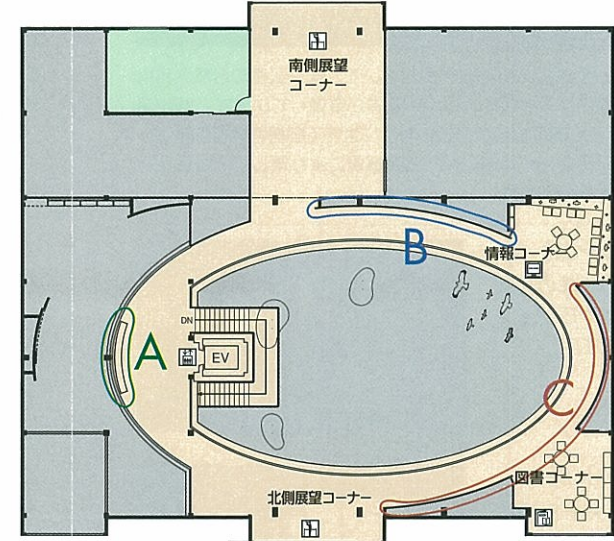
延床面積：492.06㎡

洞爺湖ビジターセンター



延床面積：1005.35㎡

施設は2階建て吹き抜け構造で、洞爺湖の巨大空撮写真を中心に、解説パネルや実物標本、立体模型などが囲むように設置されています。



延床面積：465.98㎡



火山科学館

洞爺湖ビジターセンターと通路でつながった火山科学館では、20～50年ごとに噴火を繰り返す有珠山の火山活動を紹介しています。



(3面マルチビジョンシアター)



洞爺湖の自然

洞爺湖周辺に生きる動植物の特徴やかかわり合いを、美しい写真や実物標本などで紹介しています。



ジオラマ (冬の生きものたち)



ジオラマ (地中の営み)